

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27005

学校名：手稲東小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
<b>体力・運動能力 &lt;男子&gt;</b> ◎前回の記録と同程度、もしくは上回った種目 握力、反復横跳び、20mシャトルラン、ボール投げ、50m走、上体起こし ◎前回の記録を下回った種目 長座体前屈、立ち幅跳び		全国平均とほぼ等しかったのが「握力」「反復横跳び」「50m走」「ソフトボール投げ」、その他は全国平均を下回った。
<b>体力・運動能力 &lt;女子&gt;</b> ◎前回の記録と同程度、もしくは上回った種目 上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、ボール投げ ◎前回の記録を下回った種目 握力、50m走、立ち幅跳び、		全国平均とほぼ等しかったのは「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」であり、その他は平均を下回った。R1 から一度も全国平均を上回ったことがない種目で、男女共通しているのは「20mシャトルラン」。持久力が課題の1つと言える。
<b>運動・スポーツへの意識、運動習慣</b> ◎「1週間の総運動時間420分以上」の割合 男子 (R6:44.2%⇒R7:69.0%)、女子 (R6:24.3%⇒R7:32.6%) ◎「体育の授業は楽しい、やや楽しい」の割合 男子 (R6:92.2%⇒R7:97.7%)、女子 (R6:86.4%⇒R7:91.3%)	◎「朝食を毎日必ず食べる」の割合 男子 (R6:86.5%⇒R7:80.0%) 女子 (R6:70.3%⇒R7:76.1%)	体育の授業に対して前向きな姿勢をもっている児童が多い。無理なく、楽しく体を動かす機会にあることや、休み時間に外で遊ぶことが浸透していることなどがよい効果をもたらしているものと思う。1週間の総運動時間420分以上の割合は、前年度よりも増加している。

<b>三つの取組</b>	<b>①体育・保健体育等の授業の充実</b>	<b>②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組</b>	<b>③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組</b>
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------

<b>具体的な取組</b>	◎課題解決的な学習 「できた」「わかった」が生まれる、学び合う体育授業を目指す。 A…「あせ」（運動量の確保と課題の発見） K…「こつ」（運動の仕組みの習得） E…「えがお」（学び合い・高め合い） 「AKE」をキーワードに、課題解決学習となる体育の授業づくり・実践を通して、児童一人一人の心身の健全な育成を目指す。	◎外遊びや学級・学年での全体遊びの励行 ◎全校での東っ子ソーランへの取り組み ※R7に引き続き、R8も継続。 6月実施予定。 ◎児童委員会による取組 「なわとび30秒チャレンジ」 「なわとび企画」 「体力テスト全学年実施（一部種目）」 「ダンス企画」 「鬼遊び企画」 ※昨年度実施した上記の活動等を今年度も更に工夫して実施、新しい取組を加えていけるように支援していく。 ※年間を通し、取組の時期が集中しないように配慮し、継続して体を動かす機会を提供できるようにする。	◎体力向上委員会 年間を通して健康や安全に目を向けられるようなイベントを企画から運営まで児童が行う。 R7は、以下の取組を企画・実施。 ・なわとび30秒チャレン ・反復横跳びチャレンジ ・鬼遊び企画 ◎集会委員会 委員会の内容に体を動かす要素を関連させ、児童にとって魅力あるイベントを計画・実施する。特に外での運動が減る秋から冬の期間、中休みに体育館で体を動かす企画を検討。 R7は、以下の取組を企画・実施。 ・Tソウルフェス（全校でのダンス） ・チョイス・ザ・玉入れ（玉入れ・鬼遊びの要素） ※R8も、児童が意見を出し合い、企画・実施していくようにする。
---------------	--	--	---

**家庭・地域との連携・協働**

- 出前授業で、プロ選手から運動や競技に関わる指導を計画・実施する。
- 歯科衛生士による歯磨き指導等、外部講師による指導を計画・実施する。
- 保護者ボランティアを募集し、スキー学習のサポートをお願いする。